



受付日：平成23年4月19日
受付番号：HP11-KT019

接合部性能試験成績証

試験結果は以下のとおりであることを証明する。
平成23年5月19日

東京都港区芝5-3-7
徳栄ビル本館4階
ハウスプラス確認検査株式会社
代表取締役社長 加藤 義雄



1. 接合金物名称	根太受け金物「IジョイストハンガーMIU4.28/11」
2. 試験依頼者	(1)株式会社 タナカ 〒300-4111 茨城県土浦市大畑702-1 (2)Simpson Strong-Tie Company, Inc. (シンプソン ストロングタイ カンパニー インク) 〒PO Box 10789, Pleasanton, CA 94588 5956 W. Las Positas Blvd., Pleasanton, CA 94588
3. 目的	当該接合金物を用いた接合部の短期基準接合耐力(せん断)を評価する。
4. 試験内容	横架材端部仕口(梁-梁型)のせん断試験 なお、準拠する試験方法・評価方法は、ハウスプラス確認検査株式会社制定「木造建築構造試験事業における接合部性能試験業務方法書(平成21年4月1日制定)」による。
5. 試験体仕様	<p>1) 接合金物</p> <p>根太受け金物「IジョイストハンガーMIU4.28/11」1個 × 2 材 質：溶融亜鉛めっき鋼板 (ASTM A 653 *1) 寸 法：(外形)282.58mm×108.74mm 釘用孔 梁側:20-φ4.34 根太側:4-φ3.9,2-4.34mm×7.94mm 板厚t=1.6mm</p> <p>2) 接合具</p> <p>横架材(支持梁)側：溶融亜鉛めっき太め鉄丸くぎ「ZN90」(JIS A 5508*2) 12本 × 2 横架材(根太)側：溶融亜鉛めっき太め鉄丸くぎ「ZN65」(JIS A 5508*2) 4本 × 2 横架材(根太)側：溶融亜鉛めっき太め鉄丸くぎ「ZN40」(JIS A 5508*2) 2本 × 2</p> <p>3) 軸組材料</p> <p>横架材(支持梁)：89mm×150mm×900mm × 2 対称異等級構造用集成材スプルーエE85-F255 含水率：12.5～13.5% 絶乾密度：0.40～0.45g/cm³ 横架材(根太)：53mm×302mm×811mm I型断面形状 木質複合軸材料*3*4 を2本合わせ その他：合板スペーサー*5を根太材両端部側面の両面に太め鉄丸くぎ「CN65」(JIS A 5508*2) 一箇所あたり3本で留め付けている。</p> <p>*1 溶融亜鉛めっき鋼板に関して米国試験材料協会が策定・発行する規格 *2 JIS A 5508 くぎ *3 横架材(根太)は構造部材(梁)としても用いる場合がある。 *4 試験では大臣認定品 認定番号MWCM-0005を用いた。 *5 「構造用合板 幅60mm 厚さ12mm」と「構造用合板 幅60mm 厚さ9mm」を2枚合わせたもの</p>
6. 試験条件等	試験体は接合部を実状に合わせた仕様としている。 横架材(根太)と横架材(支持梁)は当該接合金物により連結している。 接合金物は「梁受け金物」としての使用も想定されるため、加力方法は「一方向繰返し載荷」とした。 試験結果は接合部1箇所あたりの数値を示す。
7. 試験結果	短期基準接合耐力 13.9 kN (詳細については接合部性能試験報告書に示す)
8. 試験場所	ハウスプラス確認検査株式会社 横浜試験研究センター：神奈川県横浜市鶴見区元宮1-12-24
9. 試験実施日	平成23年4月21日
10. 試験実施担当者	ハウスプラス確認検査株式会社 評定部 上杉 義則 道場 信義 千葉 博 加川 啓介

この接合部性能試験成績証を転載するときは、必ず全文を記載してください。